経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県　吉川市

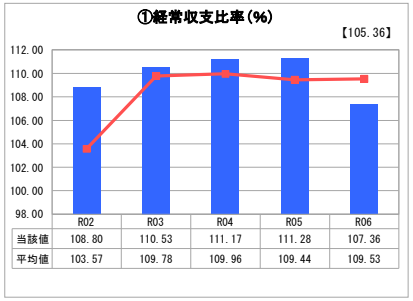
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	83.00	83.79	97.05	1,870

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
72,396	31.66	2,286.67
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
60,620	6.81	8,901.62

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

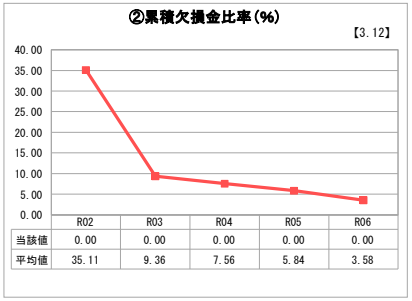
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.36】



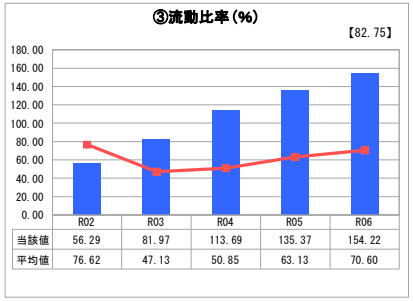
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	108.80	110.53	111.17	111.28	107.36
平均値	103.57	109.78	109.96	109.44	109.53

②累積欠損金比率(%)　【3.12】



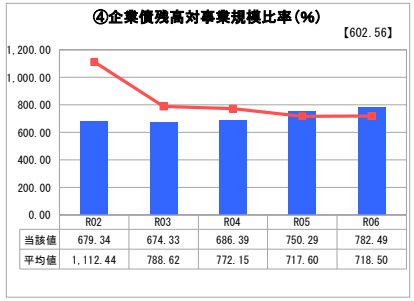
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	35.11	9.36	7.56	5.84	3.58

③流動比率(%)　【82.75】



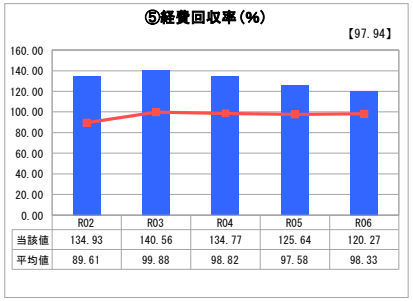
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	56.29	81.97	113.69	135.37	154.22
平均値	76.62	47.13	50.85	63.13	70.60

④企業債残高対事業規模比率(%)　【602.56】



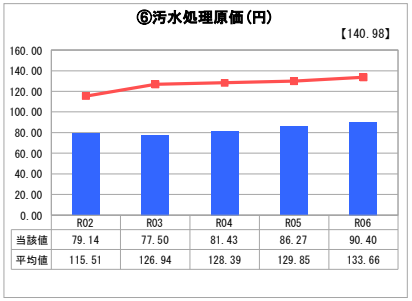
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	679.34	674.33	686.39	750.29	782.49
平均値	1,112.44	788.62	772.15	717.60	718.50

⑤経費回収率(%)　【97.94】



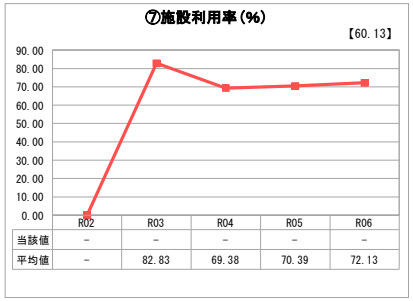
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	134.93	140.56	134.77	125.64	120.27
平均値	89.61	99.88	98.82	97.58	98.33

⑥汚水処理原価(円)　【140.98】



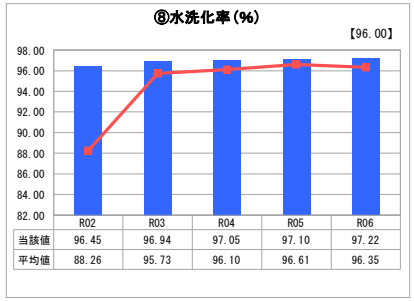
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	79.14	77.50	81.43	86.27	90.40
平均値	115.51	126.94	128.39	129.85	133.66

⑦施設利用率(%)　【60.13】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	-
平均値	-	82.83	69.38	70.39	72.13

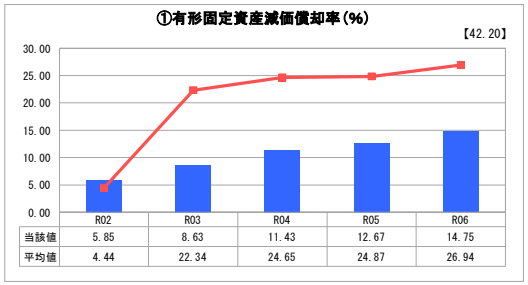
⑧水洗化率(%)　【96.00】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	96.45	96.94	97.05	97.10	97.22
平均値	88.26	95.73	96.10	96.61	96.35

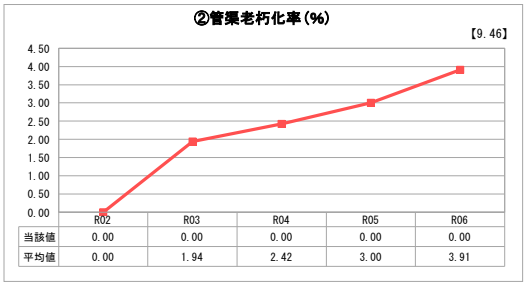
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【42.20】



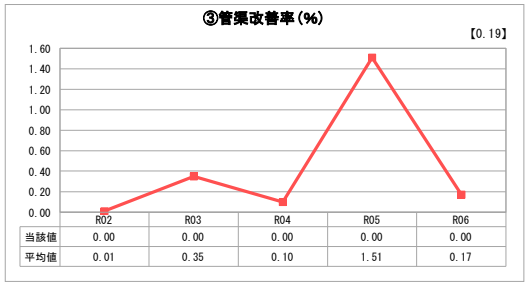
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	5.85	8.63	11.43	12.67	14.75
平均値	4.44	22.34	24.65	24.87	26.94

②管渠老朽化率(%)　【9.46】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	1.94	2.42	3.00	3.91

③管渠改善率(%)　【0.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.01	0.35	0.10	1.51	0.17

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、下水道使用料の減少や資産減耗費の計上などにより前年度に比べ3.92ポイント減少し、107.36%となったものの、単年度収支が黒字であることを意味する100%を超えており、適切な数値である。今後についても、吉川市下水道事業経営戦略に基づき、適切な経営に努めていく。
③流動比率については、現金預金の増加に伴い増加傾向であり、前年度と比べて18.85ポイント増加した。類似団体と比較しても高い傾向であり、短期的な支払い能力を確保できている。
④企業債残高対事業規模比率については、類似団体の平均を上回っており、前年度に比べ32.2ポイント増加した。今後も吉川美南駅東口土地区画整理事業に伴う下水道管布設工事等により、企業債残高が増加する見込みであるが、区画整理地内の使用収益開始に伴う下水道使用料等の収益増加によって指標の改善が見込まれる。
⑤経費回収率は、下水道使用料の減少などにより前年度に比べ5.37ポイント減少したが、類似団体を大きく上回っており、適切な数値であると考える。今後も適切な支出に努め、経費回収率の維持に努めていく。
⑥汚水処理原価は、前年度に比べ4.13ポイント増加したが、類似団体を大きく下回っており適切な数値であると考える。今後も適切な維持管理により、汚水処理原価の抑制や有収水量の確保に努めていく。
⑧水洗化率については、前年度に比べ0.12ポイント増加し、類似団体の平均を上回っている。引き続き、未接続世帯への通知を実施し、水洗化率の向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、経年により減価償却が進んだことに伴い増加しているものの、耐用年数を経過した管渠がないため、②管渠老朽化率及び③管渠改善率は0%で推移している。今後は、下水道事業経営戦略に基づき、計画的に管渠の維持管理及び更新を図っていく。

全体総括

各指標が類似団体平均値及び全国平均値より良好であり、現在のところ適切な経営状態であるといえる。しかしながら、下水道事業経営戦略において、汚水処理費の増加や管渠及びポンプ場施設の更新などにより、将来的な財源不足が見込まれている。
今後は、令和7年度の経営戦略の改定に合わせ、投資財政計画の見直しとともに、適切な使用料水準についても検討を行う。